

■ 消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 c m 未満）	114	0.02	1.17	0.00%	70.68	
K654	内視鏡的消化管止血術	19	0.21	10.37	5.26%	75.68	
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 c m 以上）	19	0.63	4.79	0.00%	76.21	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	12	1.42	11.58	0.00%	81.33	
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜）	11	2.00	7.27	0.00%	85.00	

内視鏡的大腸のポリープ切除術が最も多い症例となっています。ポリープの発生場所や大きさによって、術後出血のリスクがある場合は、入院手術となっています。

また胃、十二指腸ポリープ切除や様々な原因で引き起こる消化管の出血に対し、内視鏡を用いて出血源を特定・診断を行って止血する消化管止血術や胆道閉塞には内視鏡下での胆道ステント留置を行っています。